

学校だより 6月号



赤見台第一小学校

令和5年5月31日(水)

鴻巣市赤見台4-19-1

TEL 048-596-1688

<http://aka1-e.konosu.edumap.jp>

FAX 048-597-0265

赤見っ子

学校教育目標

(あ) 明るい心で 助け合う子

(か) 体も心も たくましい子

(み) 自ら学ぶ かしこい子

～テキパキにこにこ赤見っ子～



球技大会を通して 感じたこと

校長 大澤 紀子

校庭の芝生の緑が、色鮮やかになってきました。梅雨の季節が近づいてきましたが、校庭では、元気に遊ぶ子供たちの姿が見られます。

さて、5月17日には、6年生が市内球技大会に参加しました。市内の小学6年生が、中学校区をもとに5つのブロックに分かれてバスケットボールの試合をして交流を図るものです。箕田小・鴻巣北小・赤見台第二小・赤見台第一小の4校で各チーム2試合ずつ対戦しました。6年生は、この大会に向け、4月初めからチームを作り、体育の授業や休み時間、週3回の放課後練習を続けてきました。6年生の大会に臨む意欲と熱意は素晴らしいものがあり、とても熱心に練習に取り組んでいました。

大会当日は、どのゲームにも勝ち負け様々なドラマがありました。後半で逆転して勝利したチーム、もう少しのところで引き分けたチーム、力を尽くしたけれど勝利に届かなかったチーム・・・など。どの試合も子供たちの全力の戦いがあり、終わった時には感動とやり切った満足感がありました。

球技大会は一つの行事ですが、この経験を通して、子供たちはどんなことを学んだでしょうか。私は校長として、この大会を通して、「本当のチームワークとは何か」を考え、感じてほしいと思っていました。子供たちは、「互いに高め合うこと」「助け合うこと」「協力して取り組むこと」の大切さ等を感じたようでした。私が考えるチームワークは、「同じ目標に向かって、自分は何をすればよいか考えながら動くこと」「仲間を信頼すること」だと考えています。この行事を通して、子供たち一人一人がいろいろなことを感じ取ってくれたと思います。また、6年生としての自覚や態度が育ってきて、大きく成長した様子が見られました。大会を実施した成果が表れてとても嬉しく感じています。今後の活躍にも期待しています。

これまでの3年間は、新型コロナウイルス感染症の影響で、球技大会が実施できない年があったり、開催しても応援に制限があったりしてきました。今年は、チームで励まし合う声や仲間の応援の声が響く中で大会になりました。応援の声は選手の力になり、仲間で励まし合うことはチームワークの深まりにもつながります。そんな温かな声が響く中でゲームを行えたことは、子供たちにとって心に残る思い出になったことと思います。保護者の方の応援もできるようになると、もっといいですね。

大会までの児童の健康管理等、様々な面でご協力をいただき、ありがとうございました。

